

# ま ち の 話 題

## 豊岡

### 公演「おゝい幾太郎」 古きよき家族の時代を 熱演



心温まるストーリーと熱の入った出演者の演技に、観覧者も時を忘れて見入った

9月9日、金沢市民芸術村と文学座ユニツトによる公演「おゝい幾太郎」を、豊岡市民プラザ「ほっとステージ」で開催しました。会場では、明治36年の金沢を舞台に、世界的哲学者・西田幾太郎の青年教師時代を描いた心温まるドラマが繰り広げられ、集まった約200人の観覧者が見入っていました。公演終了後は、出演者のアフタートークショーが行われ、舞台の裏話など、出演者の違った一面を見る場面もありました。同プラザでは、さまざまな自主事業を展開していますので、皆さん、ぜひ、イベントに参加ください。

## 城崎

### 大谿川に桶の船が ぷーかぷか!!

城崎桶レース

8月30日、城崎町商工会青年部創立30周年記念事業として、かつての人気イベント「城崎桶レース」が城崎温泉街の大谿川で約15年ぶりに復活しました。

桶レースは、直径約1・2メートル、深さ約50センチの桶に乗り、約50メートルのコースで争われました。来賓などによる記念レースで幕を開け、その後、4人1組で4レースが行われました。バランスを崩したり、互いに水を掛け合って約半数が転覆するレース運びに、観光客から歓声が上がっていました。また、当日は千本もちつきも復活し、つきたてのもちが観光客に振る舞われました。



浴衣姿で桶に乗り込みゴールを目指す参加者たち

## 竹野

### 竹野小学校が 兵庫県代表に決定

第5回全日本小学校ホームページ大賞



日々「たけのこ日記」に書き込みをしている5年生の児童たち (<http://www2.city.toyooka.hyogo.jp/edu/school/takeno-es/>)

9月6日、竹野小学校のホームページが全日本小学校ホームページ大賞（J KIDS大賞）の兵庫県代表（784校中1位）に決定し、同校で表彰状の授与がありました。圧倒的なコンテンツの充実や子どもたちによる一言日記「たけのこ日記」、「フォト日記」、「今日の給食」など、毎日の更新で学校の様子が新鮮に伝えられていることが高く評価されました。竹野龍之校長は、「子どもたちの教育に役立たせるため、今後さらに内容を充実させたい」と話していました。現在は全国大会で選考中で、10月中旬には全国ナンバーワンが決定します。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報広聴係まで連絡ください。



工事の安全を願い鍬入れを行う関係者。また、起工式終了後は、赤崎橋近くの治水祈念の碑に移動し、台風23号の犠牲者に事業着工の報告がなされた

## 日高

稲葉川改修事業起工式

### 悲願の無堤防地区 解消に向けて

9月4日、稲葉川改修事業の起工式が日高町岩中地内で開催され、約100人の関係者が出席し工事の安全と早期完成を願いました。円山川と稲葉川が合流する本地域には堤防がなく、平成16年の台風23号では多くの民家が浸水し、尊い2人の命も失うなど、壊滅的な被害を受けました。そこで、国が円山川本流の築堤工事、県が稲葉川の改修工事、そして市が稲葉川土地区画整理事業と、国県市が一体となって取り組むことになりました。地元6区でつくる期成同盟会会長の吉田勲さんは、「この日を迎えられて感無量です」と感極まっています。

## 出石

### いずし古代学習館でかかしづくり ユニークなかかしが ズラリ



ズラリと並べられたかかし。色とりどりのデザインとユニークな名前で見守る人を楽しませていた

いずし古代学習館(出石町袴狭)と小野地区公民館では、平成16年から古代米栽培学習体験で刈り取った稲わらを使って、かかしづくりを行っています。

今年8月には、町内4小学校の児童らががかしづくりに挑戦し、出来上がったかかし34体が、同館近くの古代米を栽培している田んぼの横に並べられました。

並べられたかかしの中には、「ピリーをがんばるお母さん」や「チヨイワルおやじ」、「ごはんつぶのすけ」などと命名されたユニークなものがあり、色とりどりのデザインで仕上げられています。9月中には、この中から優秀作品が選ばれ、同館および小野地区公民館から表彰される予定です。

## 但東

但東ダム・よこたに湖環境ウォーク

### 湖周辺を歩きながら 環境美化活動

9月9日、但東町畑山の但東ダム・よこたに湖周辺で同湖環境ウォーク実行委員会主催による環境ウォークが行われました。

このウォークは、市民の飲料水などとなる水源を大切にするを目的に、毎月1回開催され、周辺の環境美化をはじめ、自然観察などを行いながら自分のペースで歩きます。

参加した9人は、日坂公民館を発着点とし、湖周辺約5キロメートルを、ごみ拾いや湖の生物調査などを行いながら歩きました。

同委員会事務局の橋本祥宏さんは「環境美化活動を通じて、ダムと地域が親しくかわって行けたらいいですね」と話していました。



今回で3回目となる環境ウォーク。但東ダム・よこたに湖周辺の環境美化などをしながら歩く参加者たち